

(科目コード : 2001220005JJ)

【改訂】第15版(2017-09-05)

【科目】社会政策

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】電子情報 5年

【担当教員】河合 恭平

【授業目標】

社会政策が対象とする現代社会の問題状況を理解し、受講者の立場に関連づけて説明することができる。
統計データとそれに関する用語を学習し、それによって社会政策に関わる現代社会の現状を把握することができる。

。受講者自身だけでなく、他者の直面している困難な社会状況に理解を示すことができる。
社会保障制度、労働政策などの社会政策の基礎を理解し、受講者自身や他者に関連づけて、その理念と役割を説明することができる。

【教育方針・授業概要】

私たちは、仕事、健康、将来などについて問題に直面することがあり、何となく不安に感じることがあります。そうした問題や不安に対処するために、社会保障や労働政策といった社会政策があります。この講義では、社会政策が必要な具体的事例、統計データ、受講者の皆さんの生活に関係づけながら、問題や不安の現状を把握し、そのうえで対応策としてどのような社会政策があり、どのようにして私たちの助けになってくれるのか、その知識の獲得と理解を目指します。

【教科書・教材・参考書等】

参考書：2016, 『問いからはじめる社会福祉学 不安・不利・不信に挑む』：坏洋一・金子充・室田信一：有斐閣
教科書は指定しません。ただし、この授業はテキストを元に構成されるので参考書として紹介しておきます。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

パワーポイントと板書による講義形式です。授業ごとにリアクション・ペーパーを提出してもらいます。また、テーマに応じて、ワークシートの活用による実習や、ディスカッションなども行います。

【メッセージ】

社会政策は、受講者の皆さんの生活に関わる話題を扱いますので、皆さんの考えや意見を聞きながら授業を進めて行けるよう努めて参ります。

【成績評価方法】

[後期]中間試験：40%, 期末試験：40%, 授業への積極性・課題(リアクションペーパー)など：20%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(社会政策)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	イントロダクション	授業概要の説明		
第2回	若者の雇用	若者の雇用(就活)不安の実態、今と昔の違い(日本型雇用、産業構造の変化)		
第3回	育児への不安	少子化と結婚の現状、女性の雇用、産休・育休など		
第4回	老後への不安	高齢化の現状、老後のライフスタイル、自助・共助・公助		
第5回	年金保険	年金保険制度のしくみ	ワークシート	
第6回	健康	医療制度、健康格差、健康のリスク		
第7回	医療保険・介護保険	医療保険と介護保険のしくみ		
第8回	中間試験			
第9回	教育における不平等	教育格差、子どもの貧困		
第10回	参加における不平等	社会的包摂と排除		
第11回	市場経済	ブラック企業、賃金・労働時間の現状		
第12回	雇用保険・労災保険	雇用保険と労災保険のしくみ		
第13回	生活保護	生活保護の理念としくみ		
第14回	社会政策と権力	日本の福祉国家の現状、種類、国際比較		
第15回	他者とともに生きる	犯罪と監視社会、外国人の人権、排外主義の問題		